

取扱説明書

専用



白熱灯シーリング

(天井付け専用型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれています。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品 番	適 合 ラ ン プ
LE-3482	E17PSクリプトン電球 60W以下×4灯
LE-3483	E17PSクリプトン電球 60W以下×6灯
LE-3484	E17PSクリプトン電球 60W以下×8灯

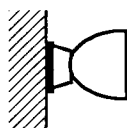
この取扱説明書のマークについて

- ⚠警告 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
 ⚠注意 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
 ❶ このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
 ❷ このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け 取り扱い上の注意

⚠警告

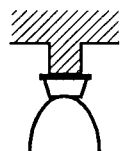
- ❷ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
 ★感電事故や漏電の原因となります。
 ❷ 次のような場所には取付けないでください。
 ★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。



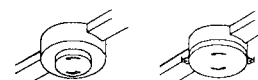
壁 面



傾斜した場所



不安定な場所



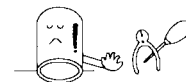
ケースウェイにセットされている配線器具

- 補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
 ○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
 ○樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
 ○凸凹のある面には取り付けないでください。
 ○サウナへの使用
 ★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

- ❷ 器具を布などで覆わないでください。
 ★過熱して、発煙や発火の原因となります。

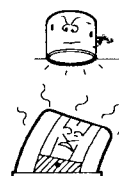


- ❷ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
 ★火災や感電事故の原因となります。



⚠注意

- ❶ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
 ★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
 ❶ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
 ★過熱して、発煙や発火の原因となります。
 ❷ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
 ★カバーの破損、落下の原因となります。
 ❷ 温度の高温なもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
 ★器具カバーの変形や火災の原因となります。
 ❷ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
 ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

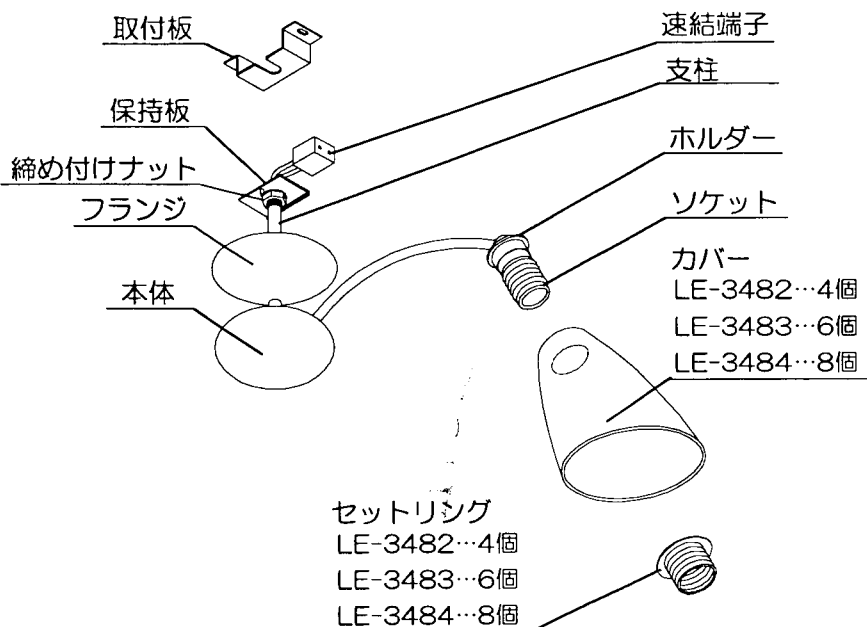


各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】



座付き木ネジ 2本
(取り付け金具用)



E17PSクリプトン電球
(ホワイト) 60W

LE-3482 4個

LE-3483 6個

LE-3484 8個



取扱説明書 (本書) 1枚

取り付け場所の確認

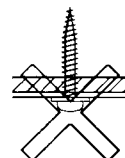
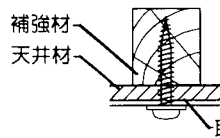
⚠ 警告

取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。

★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意

建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



取り付け方

⚠ 注意 ⚠ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ⚠

器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。

★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

⚠

端子に差し込むケーブルは、必ずVVVFφ1.6Aまたはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。

★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

●器具を取り付ける前に

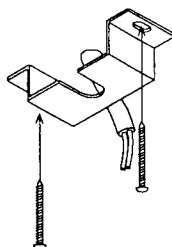
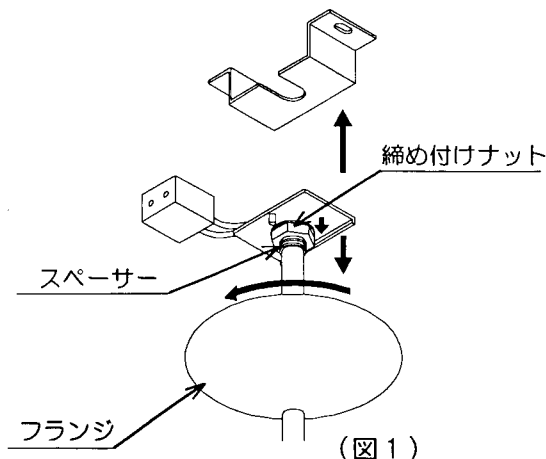
- ①フランジを緩めて本体まで下ろします。(図1)
- ②締め付けナットをスペーサーまで緩めます。(図1)
- ③取付板をはずします。(図1)

1. 電源線の被覆を剥きます。

- 電源線の被覆を速結端子のストリップゲージ(12mm)に合わせて剥きます。

2. 取付板を取りつけます。

- ①電源線を取付板の切り欠きと反対方向へ引き出します。(図2)
- ②付属の座付木ネジで取付板を固定します。



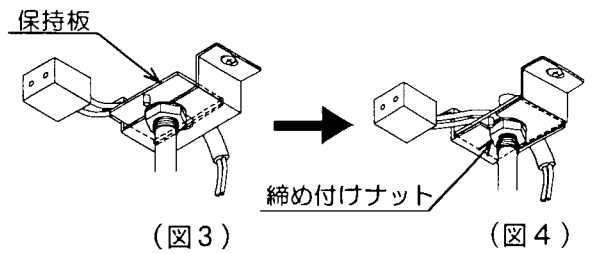
(図2)

3. 本体を取りつけます。

- ①保持板と締め付けナットの間の支柱を、保持板の折れている側から、取付板の切りこみに合わせ入れます。(図3)

(保持板が取付板に乗っている状態です。)

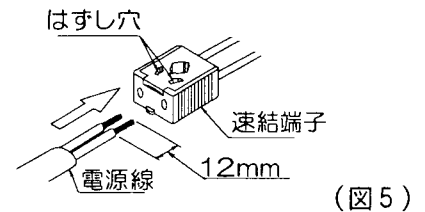
- ②締め付けナットで締め込みます。(図4)



4. 電源線を接続します。

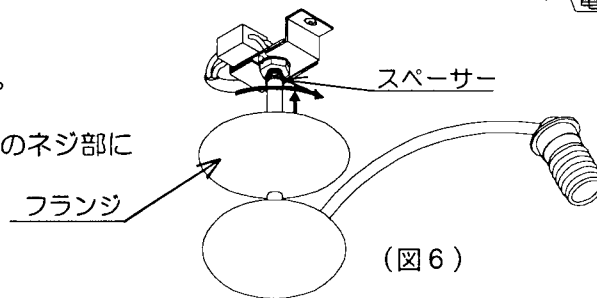
- 電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。(図5・図6)

※電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。



5. フランジを取りつけます。

- フランジを持ちスペーサーのネジ部にねじ込みます。

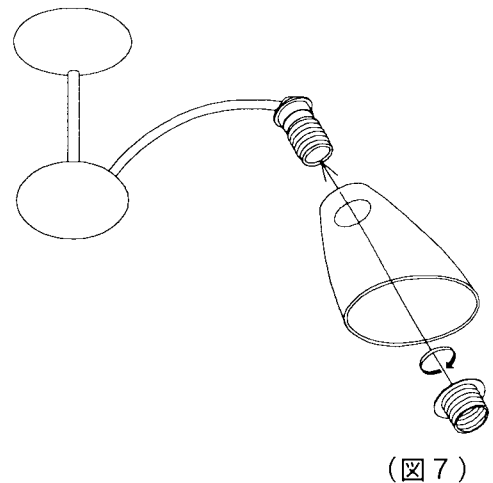


6. カバーを取りつけます。

- ①ホルダーにカバーを合わせ入れます。
②ソケットリングをソケット外周のネジ部にねじ込み
カバーを固定します。

△注意

- ❗ セットリングは必要以上に締めこまないで下さい。
★カバーの破損の原因となります。
- ❗ ヒビの入ったカバーや、一部がかけているカバーは
使用しないで下さい。
★カバーの落下事故の原因となります。

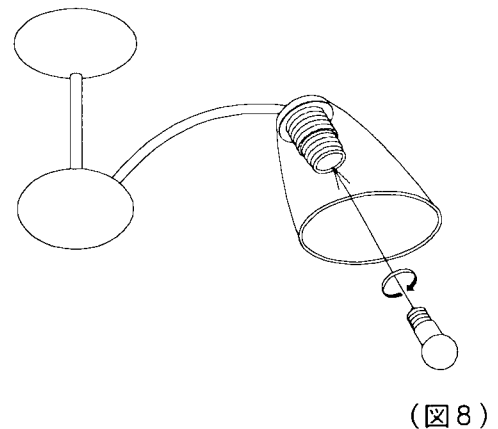


7. 電球のセット

- 電球をソケットにねじ込みます。

△注意

- ❗ 電球は乱暴に取り扱わないで下さい。
★電球割れなどの事故の原因となります。



スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて

△注意 ❶ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

△注意

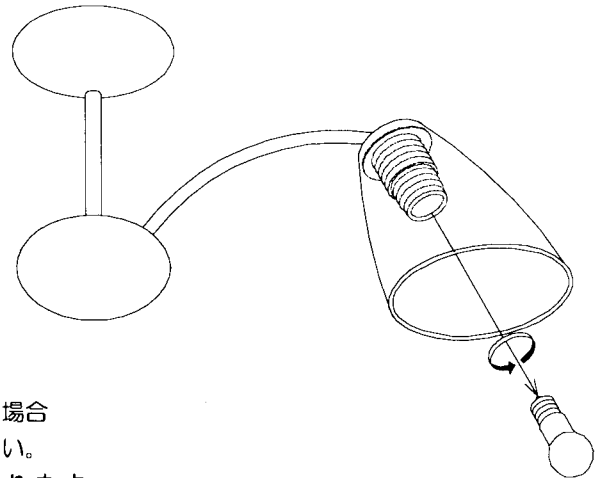
- ❶ ●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
- ❷ ●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- ❸ ●電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れてけがをする恐れがあります。
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると、異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆電球の交換

1. スイッチを切ります。
2. カバーの下から手を差し入れて電球を交換します。

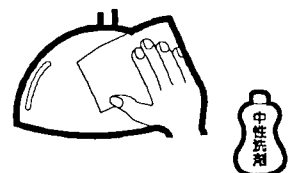
△注意

- ❶ 電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。
- ❷ カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。
- ❸ 電球をはずした際、カバーががたついていないか確認してください。がたつきがある場合には、ソケットリングを絞め直してカバーを固定してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。



◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。